

【事業完了後の写真】



2教室を建設したナムカン幼稚園（ライチャウ省シンホー郡）。旧校舎は老朽化で壁板の隙間から雨風が吹き込み、過酷な教育環境であった。教師によれば、新校舎建設後、保護者の関心が高まり、2～5歳の園児が46人から54人に増加。出席率も上がっているという。



同ナムカン小学校に建設したトイレ。付近には水タンクや手洗い場も設置した。以前は屋外で排泄していた子どもたちが、衛生的なトイレと手洗い場の使用を習慣化することで、感染症予防の効果も期待される。



3教室を建設したスオイスートン小学校(ライチャウ省シンホー郡)。以前の教室は虫食いと雨漏りで木が腐りかけ、壁の一部が剥がれていた。頑丈な新校舎には今年度、1～3年生の児童45人が通う。



同スオイスートン小学校の新しい教室には、電気配線と扇風機も設置されたことから、寒暖差に対応して学習に集中できる環境となった。また小さい子どもたちの身長に合った高さの机や椅子が支給され、適切な姿勢で勉強できるようになった。



2教室を建設したダクウイバイ幼稚園・小学校(コントウム省コンブロン郡)。以前は家畜が、地域住民が作った簡素な柵を壊し、校舎敷地内に侵入することがあったが、建設後の今年度は17人の児童・園児が安全な校舎で勉強することができる。



同ダクウイバイ幼稚園の教室内。明るく清潔な教室で、園児が支給された教材や遊具、児童図書に親しんでいる。浄水器も設置され、安全な飲み水にアクセスできるようになった。



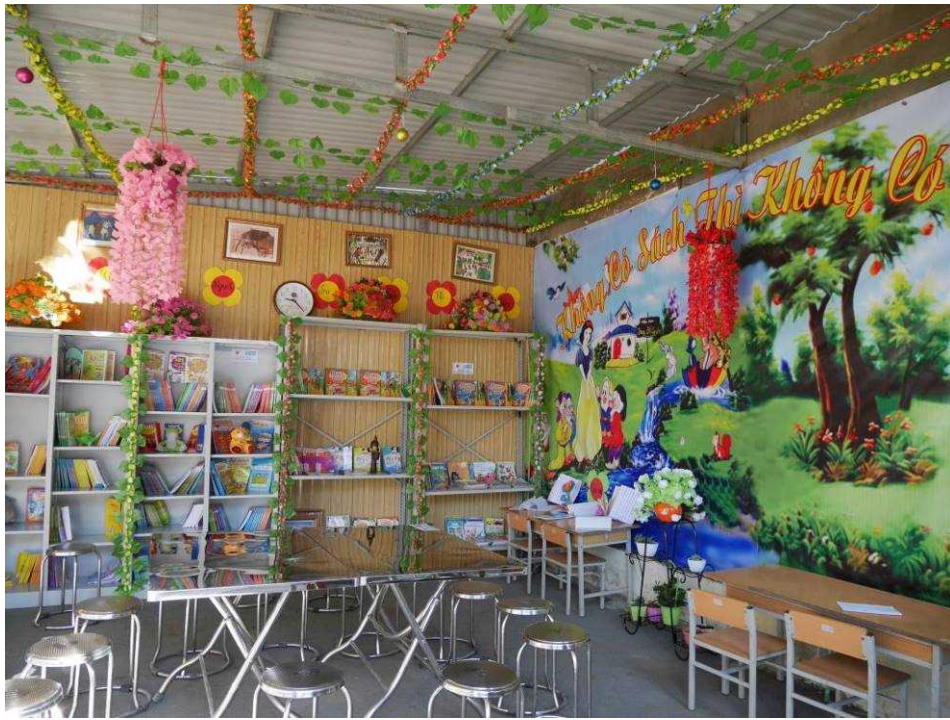
2017年3月末にライチャウ省のコアグループが、教師間の学びあいを2012年から実施するハザン省の学校を訪問した、活動地間研修。参加者は先行事例からの学びを得ながら、共通する課題について意見交換を行った。



2017年5月にライチャウ省シンホー郡の小学校・幼稚園教師、保護者、地域リーダー、教育訓練局職員などが介した地域教育推進ワークショップ。幼児教育から初等教育への円滑な進学を後押しする、地域ぐるみの協力体制について話し合われた。



2017年8～9月にかけてコントウム省コンブロン郡で実施されたカリキュラム調整ワークショップ。国が指定する教科書では、少数民族の生活環境からかけ離れた内容があるため、授業内容や教材を分かりやすく調整する方法を話し合った。



ライチャウ省シンホー郡の小学校で新たに設置された図書室。子どもたちが読書に親しめるよう、配架や分類方法が工夫されている。休み時間には子どもたちが押し寄せる。